

私の抱負



浅沼登

ひなぎく幼稚園は昭和三十一年一月に開園し、昨年学校法人にしました。本年は創立四年目を迎えますので、新年にあたり心を新たに、経営に、保育に、一層の努力を誓いたいと思います。

一、環境、設備に対する私の考え

東京大学の良さは、あの大銀杏並木にあるのではないでしょう。あの道を歩くことの光栄と誇りとが、幾多の人材を輩出したのだと言っても、決して過言ではないでしょう。武蔵野音楽大学に一步足を踏み入れた時、ロビー、食堂、教室などの美しいことは驚くばかりで、自ずと心が浄化される感がいたします。教育は人格の向上、品性の陶冶が第一であるという学長福井先生のお考えから設計されたものです。

大学ですらそうです。ましてや幼稚園においては、よい環境、美

しく明るい園舎、広い運動場、良い設備などが完備しているならば、幼稚園の保育はそれだけで九分通り成功していると考えてさしつかえないと、私は堅く信じています。これらが甚だしく不備の場合、いくら、もっともらしい理屈を言ってみても、保育の効果はある限度を越えることはむずかしいと思います。眼に見えない偉大な影響力が貧弱になってしまふことは、教育の場としてその資格がないと思います。したがって経営者として、私はそれらの点に最大の努力を続けております。その成果は未だ公表するまでにいたっておりませんが、概略次の通りです。

敷地は三〇五坪ですが周囲の環境はまことに恵まれています。園舎は一二〇坪、品格があつて落ちつきがあり、しかも幼児が親しめるようにと、ずいぶん考えたつもりです。特に近代的に、通風採光、色彩、ならびに衛生に極力留意いたしました。

便所は浄化槽を設け水洗としましたが、日本人の習慣上から特に保育室内を避けて設計しました。机、椅子はパイプ製で広く丈夫で軽いものです。用具入れはすべて引出しにせず、中が見えるように棚にしました。飾り棚、グリーンボード、黒板などは出来るだけ多く設け、手洗場も多くしました。

二、教諭および一学級幼児数に対する

私の考え

良い設備を一〇〇パーセント活用していただくのは先生ですから、私は極力良い先生を選びます。

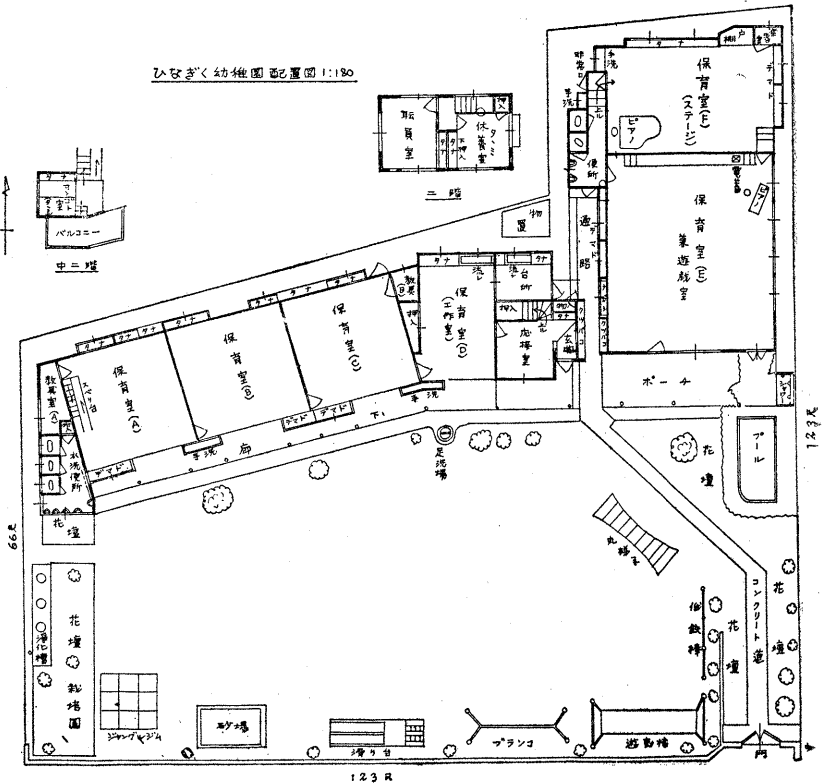
一学級の人員は二五名を標準として保育室の設備をしました。

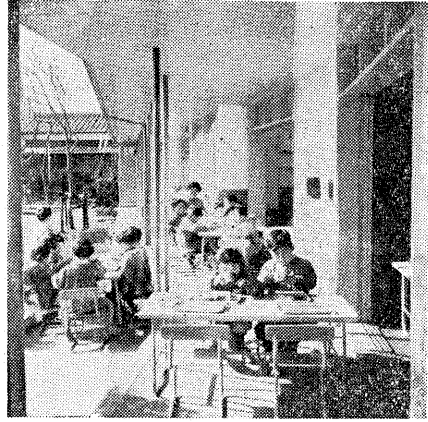
現在は二二―二七名です。但し三年保育児は一五名です。一学級を四〇名にもするのは、たとえ助手をつけたとしても、私はよくないと思います。現在五学級一二三名に対し、有資格教員六名と事務員一名を配置しております。

三、保育に対する私の考え

本園の保育標語は「はりきっていつもここに元

ひなぎく幼稚園配置図 1:180





暖かい廊下でおべんとう

気な子」というのです。言いかえれば健康、善良、闘志ということ。環境をよくして、上品な正しい善良な性格を養成するこ

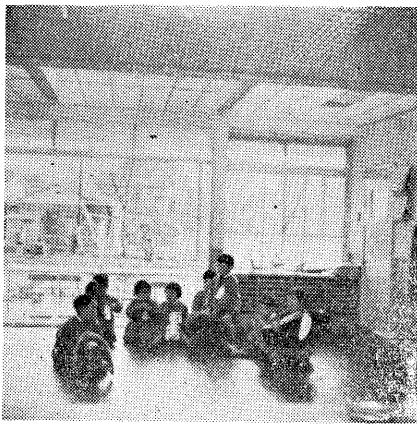
とはもちろん、特に私は健康すなわち発育に重点をおいています。それ故、園舎は南向きで運動場と直結して開放的にし、東西に長く設計されています。幸に北は小高く、夏は涼しく冬は暖かです。プールも出来ましたが、遊具、特に遊戯室内の体育施設が無いので、今年に設備する予定です。

更にそれに加えて闘志ということを強調しています。世の中は闘志だと思えます。その人の天性のいかにかかわらず、闘志さえあれば、必ずその人は何事かを成しとげ得るものであると私は深く信じております。意気地のない人には決してたくないと思えます。

四、幼稚園と小学校との関連に対する私の考え

「幼稚園はものを教えるところではない。自然に覚えるところである」このことには私も全く同感で大賛成です。しかし幼稚園の先生の中には、自然に覚えるにしても何にしても、覚えさせることに努力しない人があります。私はものを感じさせたり、考えさせたり、覚えさせたりすることは、おおいにやらなければいけないと思えます。ただ問題はその方法にあるのです。

自然に、おもしろく、不知不識の間に知識、技能を会得するように、



ルーバーのある明るい保育室

その設備、方法を研究すべきだと思います。押さえてはいけないと思えます。一年も二年も保育するのですから、数だっ

て百位まで覚えたとしてよからうし、ひらがなの読み書きを全部確実に覚えたって差しつかえないでしょう。現代の子どもと昔の子どもとはすべての環境が違います。早く発達したとて不思議はありません。近代科学の進歩は早期教育を要求し、天才の出現を待っているのです。

ある有名な幼稚園を参観したところ、幼児の製作品が並んでおりました。まずその出来ばえの巧みなことに驚きました。ところが更に驚いたことは、それらが見分けのつかないほど一定して全然同じなのです。このような保育だけは決してしたくないと思います。



園 舎 南 面

五、科学教育に対する私の考え

科学教育、私は本年このことを特に研究してみたいと思います。昨秋ソ連のイシコフ漁業相が浦和の常盤小学校に来てまず「工業室はどこですか」と聞いたとのことです。この一事からもソ連の今日在る所以がわかると思っています。

本園では最初から工作室を設計して、自由に製作が出来るようにしたのでしたが、残念ながら現在は保育室が不足していますので、三年保育児の室にあてています。やむを得ないので各室の観察欄を利用しておりますが、本年は是非科学教育用具を工夫したいと思いきっています。

六、私の夢

理想的に近い幼稚園を経営しようという私の考えは、徐々にあります。更に隣接地二〇〇坪を買収して、運動場の拡張、園舎増築、庭園を作り池や彫刻を配するなど、一步一步私の理想に近づきたい。

そうしてここで育った子どもたちが、将来ひなぎく幼稚園を思い出した時、美しい園舎、たのしかった運動場、親切だった先生などがなつかしく美しいイメージとして臉に浮かぶようにしたいというのが私の夢です。

(埼玉・ひなぎく幼稚園理事長)